

# Salon d' AALA

サロン

ダーラ

2016. 3. 1. No.76

## 緊急事態宣言って何？

弁護士 山下 綾子

### 緊急事態宣言とは

最近新聞などで、「緊急事態条項」という言葉を目にすることが多くなりました。これは自民党改憲草案に盛り込まれた条項で、大規模自然災害や武力攻撃などの緊急事態が発生したときに内閣総理大臣が緊急事態宣言を発することができるとするものです。一見何でもない条項のように見えますが、その実態は恐ろしいものです。この宣言が発令されると、何人もその指示や措置に従わなければなりません。何人とは、民間人に限らず、地方自治体の長や、医療従事者、運送業者、船員その他の職業の個人、組織がその対象となります。つまり緊急事態宣言は、法律によらず国民の基本的人権や財産権、地方自治権を奪い、憲法を事実上停止させる効力を持っているのです。先日の朝日新聞に防衛省が「有事の輸送に民間船員を活用する計画を進めており、船員組合は事実上の徴用だと反発している」との記事がありました。強制収用や役務の徴用の目論見がすぐそこまで来ているのです。

### 本当のねらいは

一見大規模な自然災害への対処を装いながら、この条項の本当の狙いは国民から言論の自由を奪い、戦争をしやすくするところにあります。大規模災害が口実に過ぎないことは、福島のある大規模災害が何も解決していないのに、有効手だても講じずに安倍総理自ら原発再稼働に拍車をかけていることから明らかです。ナチスは、ワイマール憲法という民主的な憲法を横に置いて、全権委任法を作り、この法律のもとに言論、報道の自由を奪い、司法手続きを無視して反対勢力を逮捕し、拘束し、独裁政権を樹立しました。「ナチスの手口を学んだらどうか」といった当時の麻生副総理の言葉を思い出さないわけにはいきません。「緊急事態宣言は憲法9条改正とは比べものにならないほど怖い」と、投票の平等を求める会で活動している弁護士が新聞広告で述べているのを見た方も多いと思います。

### 2000万署名の取組

こうした事態に対し、「戦争させない、9条を壊すな！総がかり行動実行委員会」は、今年の憲法記念日に向けて戦争法の廃止を求める2000万人統一署名運動に全国で取り組んでいます。平和を奪われないために皆さんも是非この署名集めにご協力下さい。

# 旅行で知る違いいろいろ / バンクーバー編

井上 史

12月にバンクーバーからメキシコシティー、そしてハリウッドへと行ってきました。

バンクーバーの空港から市内へ行くのに電車を使ったが、電車の改札口はなんとまあすべての機械が開いたまま。カードをタッチしなくても可能な状態。なんと太っ腹。半分以上の人はカードをタッチしている様子はなかった。ロサンゼルスで乗った電車の改札の機械も開いたままだった。街を行きかう人の服装の暗いこと、黒紺グレーばかりで驚きだった。日本なら、冬だと言っても、色はもっとバラエティ豊かだしデザインももっとファッショナブルで明るいのに。暗めの色で熱を吸収したいという表われなのだろうか。大きな店構えの女性下着店に入った。地下も2階もあった。きらきらゴージャスすぎて、庶民が入ってもいいのかしらと思える内装だった。飾ってある上下の下着の数々はデザインがセクシーで、色も赤や紫、ピンクと色遣いが積極的で舞台衣装にでもするのかと思うほどだった。年配の女性も手に取って見ていたが、最終どれを選んだのだろうか。

バンクーバーのグランビルアイランドは港になっていてファーマーズマーケットやかわいいお店が集中しており、見て回るのは楽しかった。忘れられないのはケーキの色。三角のサンドイッチ型ケーキはスポンジとクリームが交互に重ねられており、チョコレート・スポンジ・赤クリーム・スポンジ・オレンジクリーム・スポンジ・黄色クリームと虹色に重ねられ、紫のクリーム・スポンジで最後という具合のケーキだった。



めずらしい。しかしこんなに着色料を使っては如何なものかと興醒めした。

ダウンタウンにはアジアやヨーロッパの国々のレストランも充実していて、わたしはギリシャ料理、ヴェトナム料理、ステーキ、イギリス料理（フィッシュ&チップス）、日本もどき（酢飯になっていない）ロール寿司などを食べた。

人間も興味深い。どこに行ってもアジアや中東の人たちが目につき、ヨーロッパ系の人たちより多いのではないかと思った。でも彼らは皆何らかの仕事を持っていた。ストリートには白人のホームレスがあちこちにおいて比較的若い人が多かった。ひとりもいるがカップルもいれば、3人ぐらいで座っている人たちも、また犬連れも。だれかが道を彼らに尋ねたりもしていたのには日本とずいぶん違うなと思った。ここはマリファナがグレーゾーンだということで、座っている彼らからも、すれ違った人からも臭いがしてきた。年配の女性や男性そして若い男性が普通のように、ストリートのゴミ箱をあさっていた。すごい状況だ。タクシーに乗ったら、髭を生やしたドライバーはインド系で、分厚くターバンを巻いていた。20cmほどの近距離で見たのは初めてで、見事だなと感心した。インド訛りと日本語訛りが話をしながらも、チップをいくら出すべきか、小銭持っていたかなと気になっていた。今月はここまで。

# 朗読劇「校庭に東風吹いて」

上演に取り組んで 莊司蓉子



1/13 退職教職員新春の集いで発表

現在、「校庭に東風吹いて」という映画が製作されています。これは製作協力券（1枚1,000円：前売り券を兼ねる）を普及して行くやり方で進める、「製作実行委員会」を母体としています。原作の小説（新日本出版社・刊）は南山城村在住の柴垣文子さん（日本民主主義文学会会員、元小学校教師）。

「学校では声が出せない「場面緘黙症」の小学3年生の女子児童と親、貧困で様々な問題を起こす少年、彼らの担任教師の心の葛藤、改善に向けての模索を綴ったもの」製作の中心にいるのは桂壮三郎プロデューサー・金田敬監督、「アンダンテ～稲の旋律～」のスタッフが結集。脚本は新鋭の長津晴子です。

さて私とのかかわりを説明しましょう。実行委員会のメンバーから、新婦人城陽宮ノ谷班の「朗読小組」（10人程の中にAALAのメンバーも5人います）に「製作運動の一環として、朗読で小説の一部でも読んでもらえないか」と呼びかけられたのが昨年5月頃。「9月に発表の場を設ける」と決められ、朗読用脚本を作ることになり、1か月ほどで50分あまりにまとめました。9月の城陽での発表（30人位の集会）で終わりのつもりだったのですが、その後教職員関係の集会等で4回の再演をしました。時間も35分ぐらいに短縮しました。京都市内や宇治で再演してきましたが、次は城陽の国際女性デー（3/5）で上演します。そのチラシの一部を載せます。

## 3/5（土）城陽国際女性デー 鴻の集會館

朗読劇 13:50～〔35分〕 「校庭に東風吹いて」

（原作 柴垣文子）新婦人 城陽宮ノ谷班朗読小組



学校で声が出せない心を閉ざした少女ミチル。教師は何が出来るのか 話題の小説 待望の映画化。主演の教師 知世役に沢口靖子さん決定！南山城村で3月末～4月ロケ、秋には上映される映画。「朗読劇」はシナリオ・小説を元にしたダイジェスト版です。

朗読メンバーも、思いがけない体験をしながら、1人2役の人もありますが、感情こめて演じています。

短い朗読劇では表現しきれないことも多々ありますが、「感動した。映画が楽しみ」と言っただけなのは、

作品自身が「現代の社会が抱える様々な問題点の中で、子ども達の困難に寄り添い子ども達に愛を貫いた女教師の熱い感動の物語」だからでしょう。この映画に関心を寄せていただき、製作協力券を手に入れていただけることを期待します。

申込は 3月15日までに藤本 (☎075-203-0958) までご連絡ください。



## 第30回 世界エスニック料理の旅

今回は桜の季節に銀閣寺近く北白川の疎水沿いにある「ヴェトナムフレンチレストランスアン」で桜を愛でながら楽しいひと時を過ごしましょう。

日時 2016年4月7日(木) 12:00~14:00

レストラン名 XUAN スアン

住所 左京区北白川久保田町56-1

電話 075-741-6675

費用 1800円 +税

メニュー

- ① 生春巻きと5種類のオードブル
- ② 池西農園 XUAN サラダ (青パイアのサラダなど)
- ③ 本日のメイン (肉)
- ④ 鶏のフォー (ヴェトナムカレーフォーは+500円)
- ⑤ ヴェトナムコーヒーor 蓮茶

